
岐阜県立中津川工業高等学校

学校長 堀 秀樹

学校住所 中津川市千旦林1521-3 電話 0573-68-2115

- 1 会議名 中津川工業高等学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和元年11月1日（金）13:30～15:30
- 3 開催場所 中津川工業高等学校仰星会館第1研修室
- 4 参加者 委 員
- | | |
|-------|--------------|
| 尾関里恵子 | デンソーテン中津川製作所 |
| 小野 真人 | 坂本中学校長 |
| 加藤 早苗 | 大同キャスティングス |
| 沼田 麻衣 | 美濃工業 |
| 萩本 倫治 | 同窓会 幹事 |
| 牧野なゆみ | 坂本幼稚園長 |
| 丸山 優 | 坂本区長 |
| 堀 秀樹 | 校長 |
| 伊藤 昭嘉 | 教頭 |
| 中山 栄幸 | 事務長 |
| 藤浪 元明 | 教務主任 |
| 水谷健太郎 | 生徒指導部長 |
| 山田 豪 | 進路指導部長 |
| 後藤 昭博 | 工業部長 |
- 学校側
- (敬称略 五十音順)

5 会議の概要（協議事項）

(1) 開会挨拶 学校長

皆様、本日は大変お忙しいところ、本校の「学校運営協議会」にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。御承知の通り、今年度より、本校は、岐阜県教育委員会の方針もあり、従前の「学校評議員制度」から、コミュニティスクール（学校運営協議会制度）の適用高校に移行しています。これは、保護者や地域の皆様のご意見や思いを、より一層、学校運営に反映させることによって、学校運営の充実・改善を図っていくという目的で、実施されています。

この会は、年間3回開催することが義務付けられておりまして、本日は、今年度2回目ということになります。春先に開催された1回目の際には、今年度の基本方針、事業計画、主な取組の計画などを御説明させていただき、承認を得たところですが、本日（今年度2回目）では、その進捗状況などを、後ほど（レジメの2）の所で、御説明させていただきます。

そのあと、校内を見学していただき、最後の意見交換の所で、御意見やご感想を委員の皆様からいただければと考えております。

いただいた意見を基に、改善改良や軌道修正を図りながら、今年度残りの期間の学校運営をさせていただき、3回目（今年度末）のこの会では、その結果をご報告させていただきたいと考えております。それでは、本日は、よろしくお願いいたします。

(2) 学校説明等

①令和元年度 生徒・保護者アンケートより

アンケート結果について、特徴のある点を教頭が説明する。

②学校説明（プレゼンテーション）

※ 「地域に愛され信頼される工業高校を目指して」と題して、県や地区また本校を取り巻く状況の中で本校の現状（就職・学科説明・行事説明・地域との関わり・リニア開設に向けての動向）等を学校長がプレゼンする。その後、以下の内容について説明した。

(ア) 事業名（県からの指定事業名についての再確認）

(イ) 事業推進体制

(ウ) 今年度の取組内容

「地域に愛され信頼される工業高校を目指して」

- ・ 地元企業の見学、地元企業の情報収集
- ・ 地元企業インターンシップ
- ・ 地域連携（テクノボランティア）
- ・ 出前授業、中学校へ出向いての学校説明
- ・ 企業連携（地元企業との技術指導連携）
- ・ 地元の名所での研修
- ・ 幼稚園実習
- ・ 次世代産業（航空宇宙産業）の理解のため、岐阜かがみがはら航空宇宙博物館と近隣企業で研修

(エ) 現状と目標（目指すこと）

- ・ 「卒業していく生徒の姿で、社会の信頼を得る学校に！」

以上について、第1回目の会議内容を踏まえて再度詳細に説明し、本校の活動方針を学校運営協議会の委員の方にご承認いただいた。

(3) 仰星祭（学校祭）見学

1年生～3年生まで各クラスの各科の出し物を見学していただく。

(4) 意見交換

本校の見学を終えて

意見① 入学者数と卒業数があまり変化していないことから、本校の魅力が十分に生徒に伝えることができていると感じた。本校に入学時点での生徒の様子を知っているが、3年生になった生徒が和気あいあいと活動している様子を見て、本校に入学できてとてもよかったと感じている。（※普通科の高校では、ここまで楽しそうに過ごしている姿があまり見られないことが多いため。）

今後、地元就職率を上げていくためには、生徒がどんな企業を望んでいるのかをよく調べる必要がある。ただ給与が十分であることだけや福利厚生がしっかりしているだけでは、離れていく可能性が高い。

意見② 苦手な事（数学や理科など）にもチャレンジしてみようとする姿勢を伝えていくのが大切。

意見③ 坂本中の卒業生から「本校の生活は楽しい」といつも聞いている。挨拶や礼儀がしっかりしている。

意見④ 幼稚園実習では毎回とても良い感想文を送ってくださり、来年、再来年と今後もずっと続けていきたいと思っている。文化祭の様子を見て、改めて物作りが好きな子はぜひ本校に入学させたいと思った。

意見⑤ 本校の挨拶や礼儀正しさなどは岐阜県内の高校でもトップクラスであると強く感じた。企業に就職してから重要としている「PDCA」・「コミュニケーション」・「グループディスカッション」の3項目のいずれも、本校の生徒が学べていることに驚いた。インターンシップや企業見学だけでなく、企業側から本校に来て、出前授業のような講座をぜひ開きたいと思っている。生徒にも見せたいが、先生方にも企業側がどのように教育をしているのかを知ってもらいたい。

意見⑥ 勉強ばかりでなく、幼稚園実習やインターンシップなどの体験型の教育をたくさんして欲しい。文化祭や体育祭を学校内で終わらせず、一般公開することを今後もぜひ続けてほしい。

意見⑦ 本校でも他科の生徒同士だと大人すぎる面があるとインターンシップ中に強く感じた。今後は、自分の意見をしっかり伝えることができ、ただ言われたことするだけでなく、次に必要なことは何か、次につなげるためにはどのように生かせばいいのかを考えられる生徒を育ててほしい。

意見⑧ 工業高校から工業の教員となるような生徒をぜひ増やしてほしい（教員養成に力を入れる）

意見⑨ 企業ごとの良さを伝える講義ではなく、企業側が必要としている基礎的な社会人スキルを伝える会を設けてもよいのでは？（例 先輩が語る会など）

(5) 諸連絡

(6) 閉会挨拶 学校長

6 会議のまとめ

本日は、大変お忙しい中、本校活性化のために熱心にご協議いただきまして、誠にありがとうございました。今回いただきました、貴重なご意見を、早速、校内で共有させていただき、できることから対応していきたいと考えております。本校がますます、魅力ある「地域に愛され信頼される工業高校」となるために、「ふるさと岐阜・中津川への愛着を育む「ふるさと教育」を推進し、地域産業を担う専門的職業人を育成」していけるように、精一杯努力してまいります。

皆様方におかれましては、今後も本校の応援団として、ご支援いただければ幸いです。本日は、お忙しい中、ありがとうございました。